# 東京一極集中の是正と地域活性化

2020年9月14日

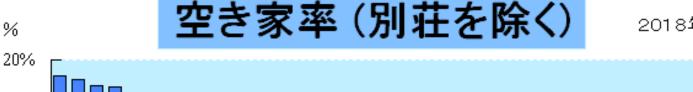
株式会社 日本総合研究所 主席研究員 株式会社 日本政策投資銀行 地域企画部 特任顧問

<sup>東たに</sup> 藻**合浩介** kosuke@motani.com

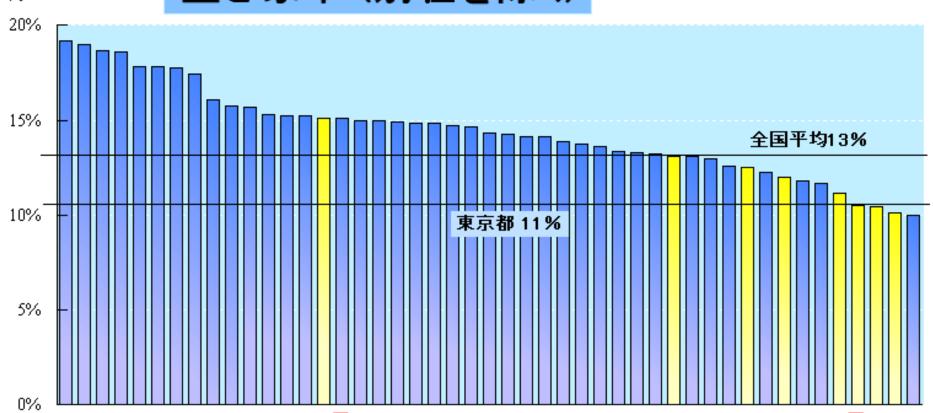


### 1. 出生率の低い 都会への若者 集中が日本の 人口を減らす

#### 「空き家は田舎に多い」は本当か?



2018年 総務省 住宅・土地基本調査

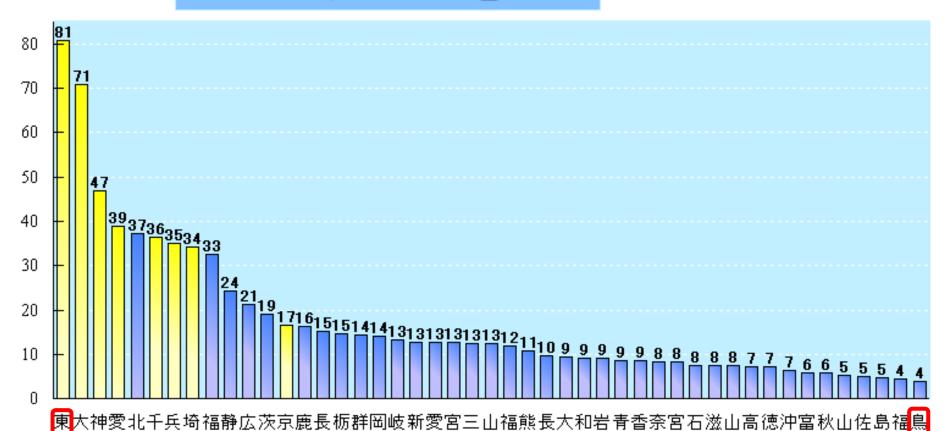


#### 空き家の10軒に1件は東京にある

#### 空き家数 (別荘を除く)

万

2018年 総務省 住宅 土地基本調査



#### 日本で起きていたこと

2015年元旦→2020年元旦 住民票基準、居住外国人含む

総人口:2015.1.1 → 2020.1.1 △109万人

全国各地から15~44歳が差し引き62万人も流入したのだが、出生減で減少

0-14歳人口の増減:

70歳以上人口の増減:

20 | 5年 23.6百万人→20年 27.0百万人



このまま続けば、60年少々で15~44歳がゼロ!になるペースの、急速な減少

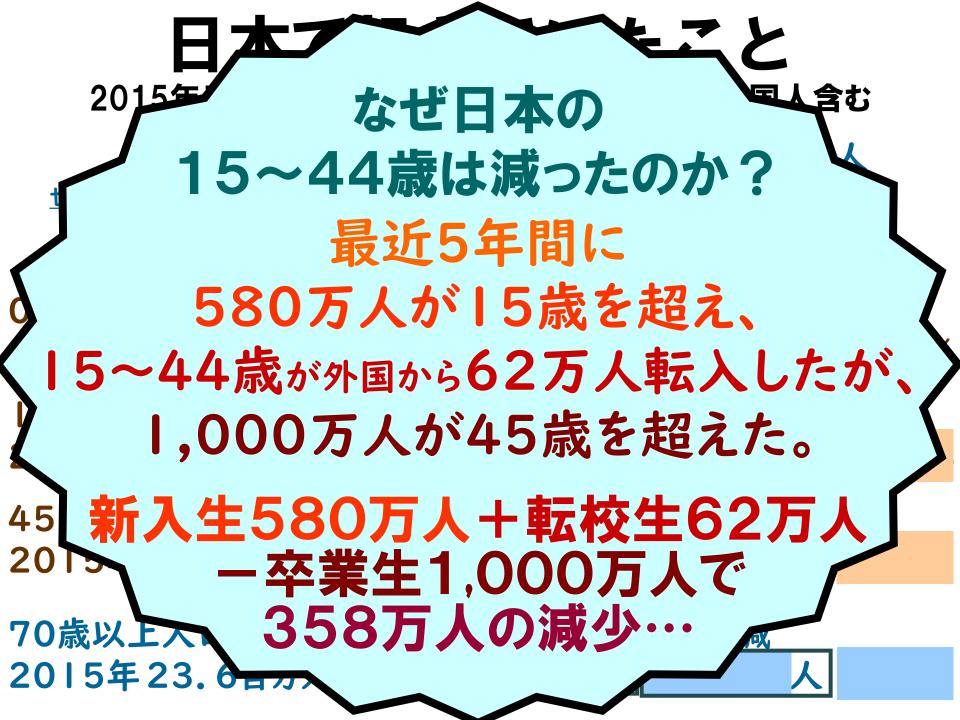
↓絶対数

↓絶対数

↓増減

+342万人

2015年 16.5百万人→20年 15.5百万人 △96万人 △6% 15-44歳人口の増減: →絶対数 増減 2015年 45.8百万人→20年 42.2百万人 △358万人 △8% 45-69歳人口の増減: →絶対数 →増減 2015年 42.4百万人→20年 42.4百万人 +3万人 +0%



#### 大阪市で起きていたこと

2015年元旦→2020年元旦 住民票基準、居住外国人含む

総人口:2015.1.1 → 2020.1.1 +59,700人

15~44歳が差し引き10万人も転入し、人口は増加



↓増減

53万人 十59,500人

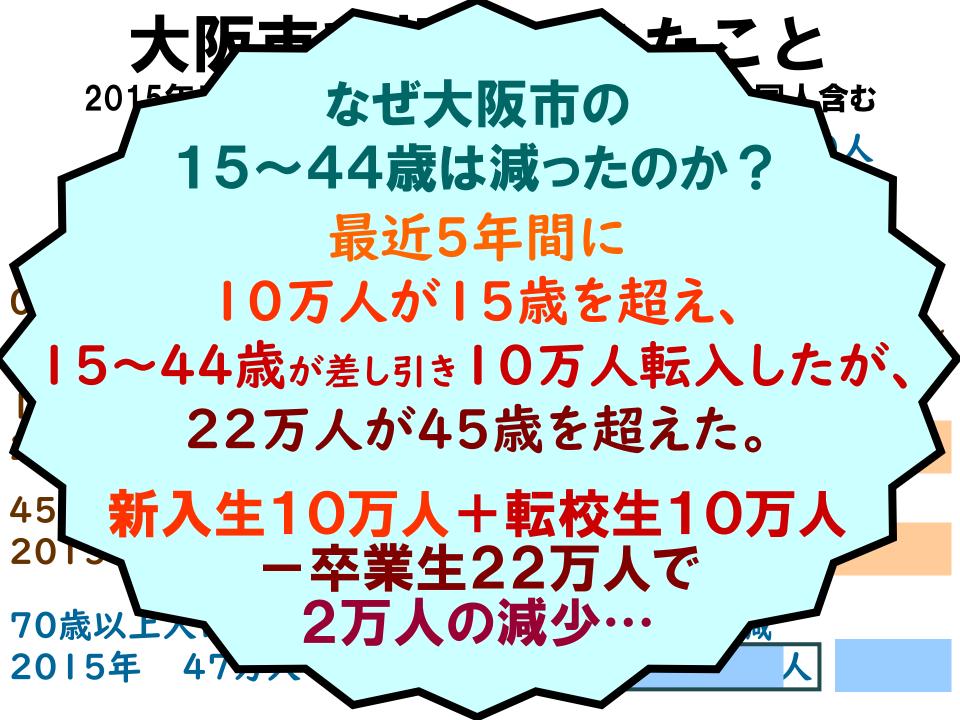
大阪市の人口増加は丸々70歳以上の増加で、44歳以下は減少している

↓増減 0-14歳人口の増減: ↓絶対数 2015年 31万人 → 20年 人8,000人 △3% ↓絶対数 ↓ ↓増減 15-44歳人口の増減: 2015年 104万人 → 20年 102万人 **△2%** 45-69歳人口の増減: ↓絶対数 ↓増減 2015年 85万人 → 20年 | +27,300人 +3%

↓絶対数

70歳以上人口の増減:

2015年 47万人 → 20年



#### しかも大阪市では乳幼児は減少

2015年元旦→2020年元旦 住民票基準、居住外国人含む

総人口:2015.1.1 → 2020.1.1 +59,700人

15~44歳が差し引き10万人も転入し、人口は増加



大阪市の人口増加は丸々70歳以上の増加で、44歳以下は減少している

0-4歳人口の増減:

↓絶対数 ↓増減

2015年 11万人 → 20年

10万人 △4,800人

 $\Delta$ 5%

15-44歳人口の増減:

↓絶対数 ↓ ↓増減

2015年 104万人 → 20年 102万人

△2%

45-69歳人口の増減:

↓絶対数 ↓増減

2015年 85万人 → 20年

88万人 十27,300人

+3%

70歳以上人口の増減:

↓絶対数 ↓増減

2015年 47万人 → 20年

53万人 | +59,500人 | +13%

#### 東京都で起きていたこと

2015年元旦→2020年元旦 住民票基準、居住外国人含む

総人口:2015.1.1 → 2020.1.1 +54万人

全国各地から15~44歳が差し引き59万人も流入し、一人勝ちで人口増加



実は東京都でも15~44歳は減っており、70歳以上が急増中

0-14歳人口の増減:

↓絶対数

2015年 156万人→2020年 160万人

+4.2万人

+3%

15-44歳人口の増減:

↓絶対数

2015年 543万人→2020年 535万人

△8.4万人

 $\Delta$  2%

45-69歳人口の増減:

↓絶対数

2015年 419万人→2020年 447万人

↓増減

+28.0万人

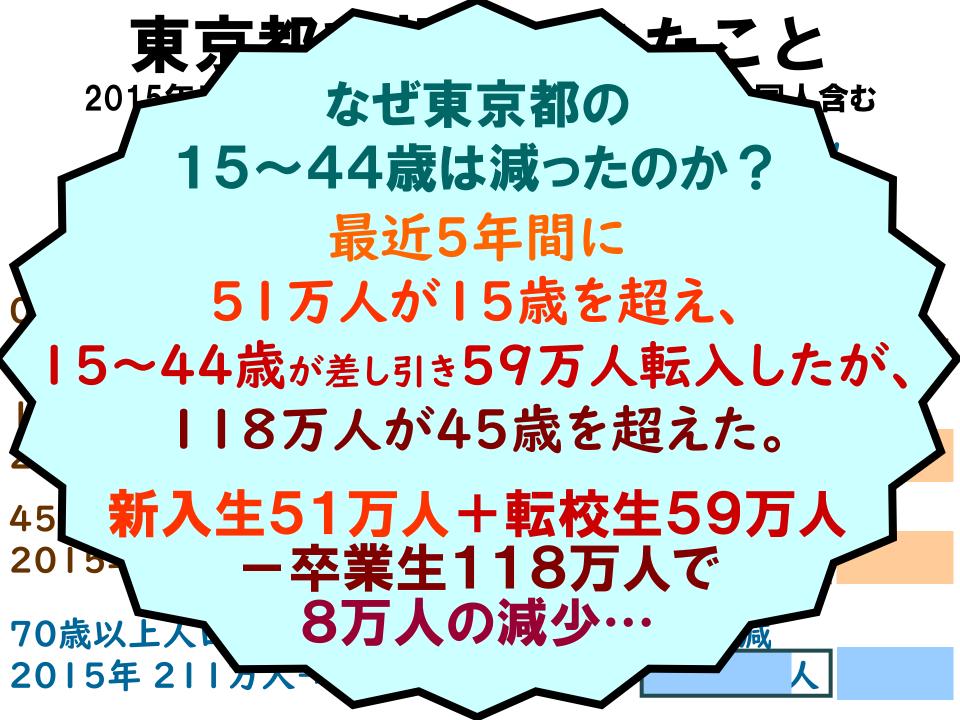
+7%

70歳以上人口の増減:

**↓絶対数** 

↓増減

2015年 211万人→2020年 241万人 +29.9万人 +14%



### しかも東京都では乳幼児は横ばい

2015年元旦→2020年元旦 住民票基準、居住外国人含む

総人口:2015.1.1 → 2020.1.1 +54万人

全国各地から15~64歳が差し引き59万人も流入し、一人勝ちで人口増加



実は東京都でも15~44歳は減っており、70歳以上が急増中

0-4歳人口の増減:

↓絶対数

↓増減

2015年 54万人→2020年 54万人

+0.3万人 +0%

15-64歳人口の増減:

↓絶対数 ↓↓増減

 $\Delta$  2%

45-69歳人口の増減:

↓絶対数 ↓増減

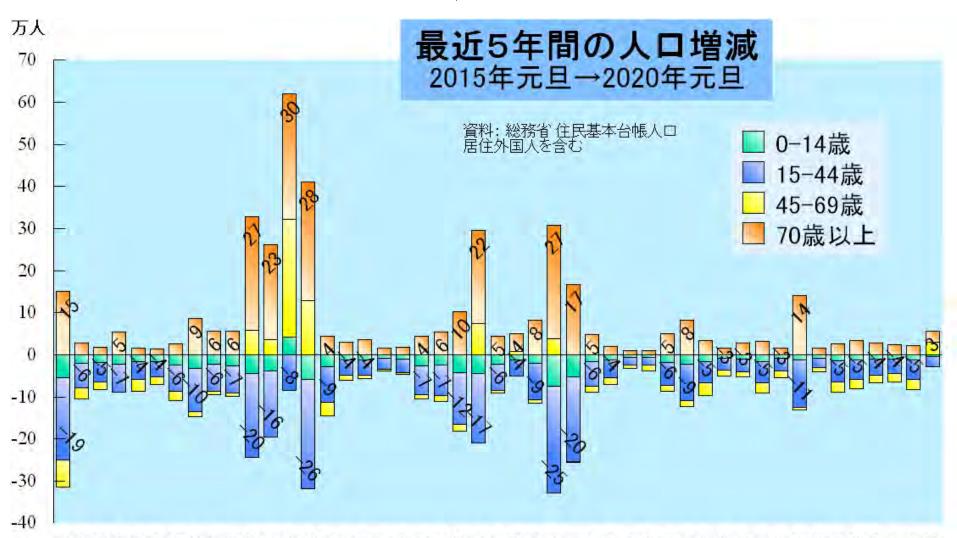
2015年 419万人→2020年 447万人 +28.0万人

+7%

70歳以上人口の増減:

2015年 211万人→2020年 241万人 +29.9万人 +14%

### 減る15~44歳/増える70歳以上



### 2. 乳幼児を 増やしてい る自治体も 存在する

#### 兵庫県明石市で起きていたこと

2015年元旦→2020年元旦 住民票基準、居住外国人含む

総人口:2015.1.1 → 2020.1.1 +6,400人

<u>15~44歳が差し引き4,800人転入し、子どもも増えている</u>



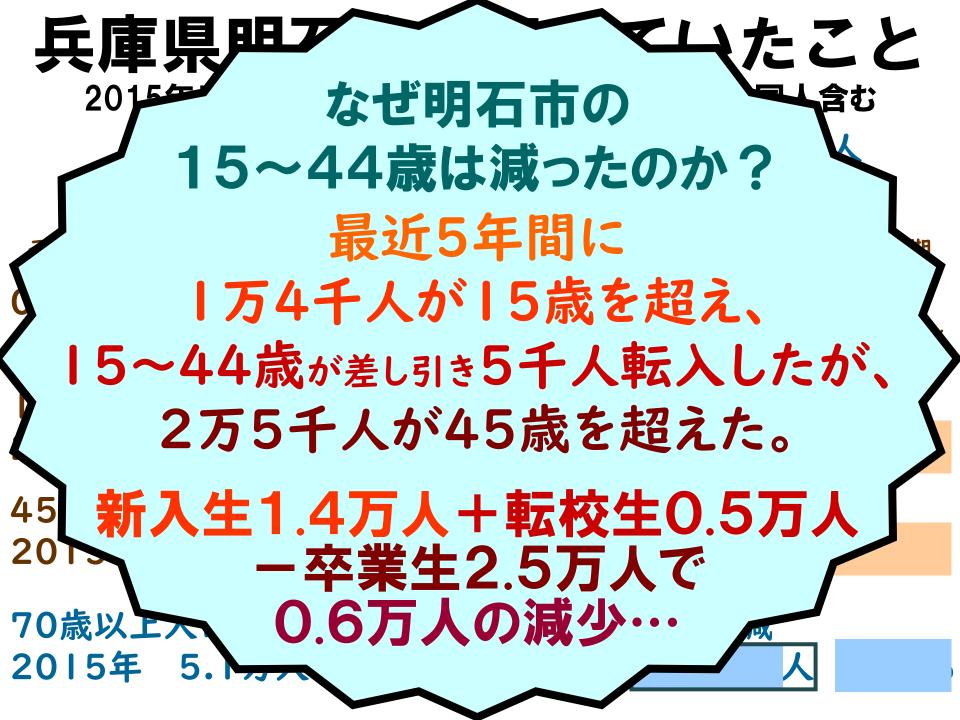
それでも団塊ジュニアの45歳越えで44歳以下は減少し、団塊世代死去までは苦しい時期

↓絶対数 ↓増減 0-14歳人口の増減: 2015年 4.1万人 → 20年 4.2万人 +1,100人 +3% ↓絶対数 ↓↓↓増減 15-44歳人口の増減: 2015年 10.9万人 → 20年 | 10.3万人 △5% 45-69歳人口の増減: →増減 ↓絶対数 2015年 9.7万人 → 20年 | 9.8万人| + 1,000人 +1%

70歳以上人口の増減:

2015年 5.1万人 → 20年

↓増減 ↓絶対数 6.1万人 | +9,900/



#### しかし明石市では乳幼児は急増

2015年元旦→2020年元旦 住民票基準、居住外国人含む

総人口:2015.1.1 → 2020.1.1 +6,400人

<u>15~44歳が差し引き4,800人転入し、子どもも増えている</u>



それでも団塊ジュニアの45歳越えで44歳以下は減少し、団塊世代死去までは苦しい時期

0-4歳人口の増減: ↓絶対数 ↓増減 2015年 1.3万人 → 20年 1.4万人 +1,000人 +8% ↓↓↓増減 15-44歳人口の増減: ↓絶対数 2015年 10.9万人 → 20年 | 10.3万人 |△5,600人 △5%

45-69歳人口の増減: ↓増減 ↓絶対数

2015年 9.7万人 → 20年 | 9.8万人| + 1,000人 +1%

70歳以上人口の増減: ↓増減 ↓絶対数

2015年 5.1万人 → 20年 6.1万人 | +9,900/

#### 島根県吉賀町で起きていたこと

2015年正月→2020年正月 住民票基準、居住外国人含む

総人口:2015.1.1 → 2020.1.1 △300人

このまま続けば、100年で人口がゼロ!になるペースの、割と速い減少



広島でも東京でも減っている15~44歳が、なんと吉賀では増えている

0-14歳人口の増減:

↓絶対数

↓増減

2015年 620人→2020年

600人

 $\triangle$ 4%

15-44歳人口の増減:

↓絶対数

→増減

2015年 1,590人→2020年 1,600/

+1%

45-69歳人口の増減:

↓絶対数

↓増減

2015年 2,280人→2020年

1,940

△340/

70歳以上人口の増減:

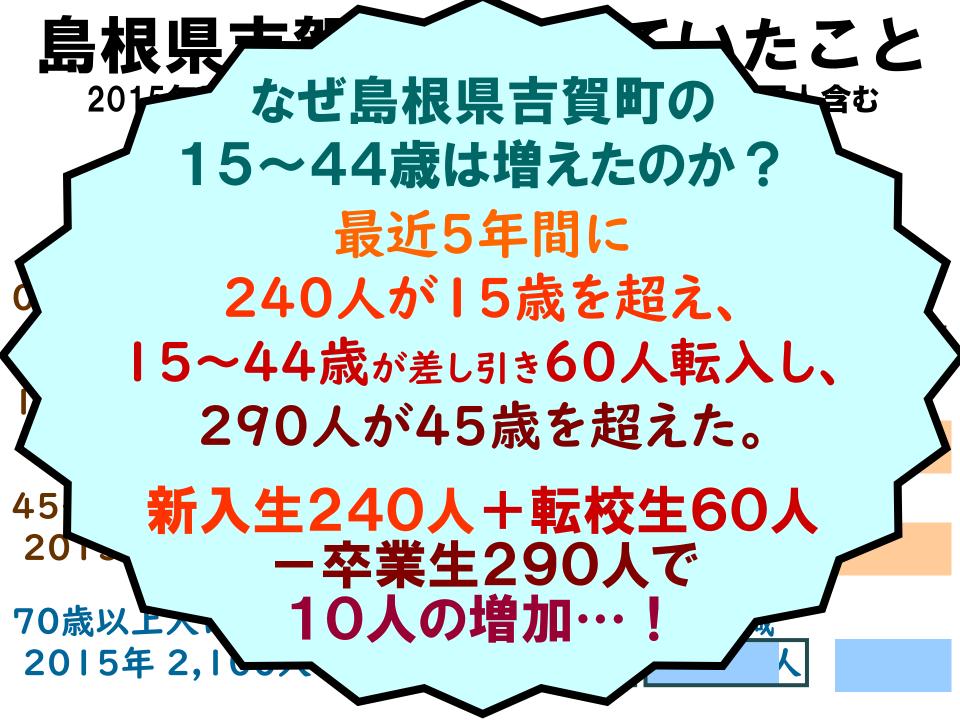
↓絶対数

↓増減

2015年 2,100人→2020年

+50人

+3%



#### しかも吉賀町では乳幼児が激増

2015年正月→2020年正月 住民票基準、居住外国人含む

総人口:2015.1.1 → 2020.1.1 △300人

このまま続けば、100年で人口がゼロ!になるペースの、割と速い減少



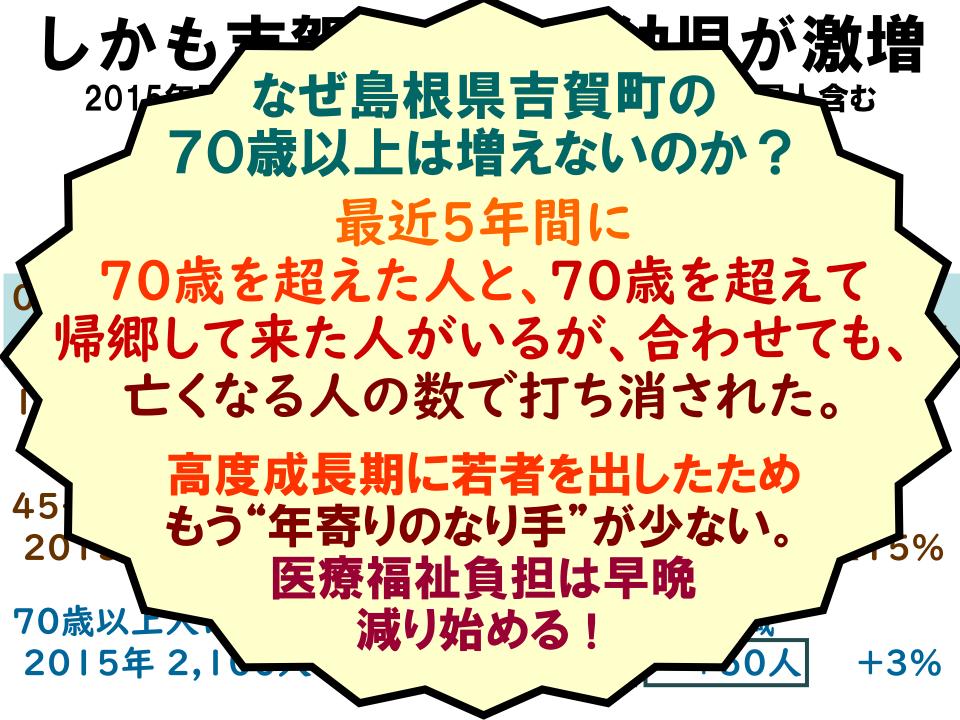
+3%

+50人

広島でも東京でも減っている15~44歳が、なんと吉賀では増えている

↓絶対数 ↓増減 0-4歳人口の増減: 2015年 170人→2020年 +40人 +23% →増減 15-44歳人口の増減: ↓絶対数 2015年 1,590人→2020年 1,600/ +10人 +1% 45-69歳人口の増減: ↓増減 ↓絶対数 2015年 2,280人→2020年 1,940 △340/ 70歳以上人口の増減: ↓絶対数 ↓増減

2015年 2,100人→2020年



#### 田舎と大都市・高齢化の大逆転

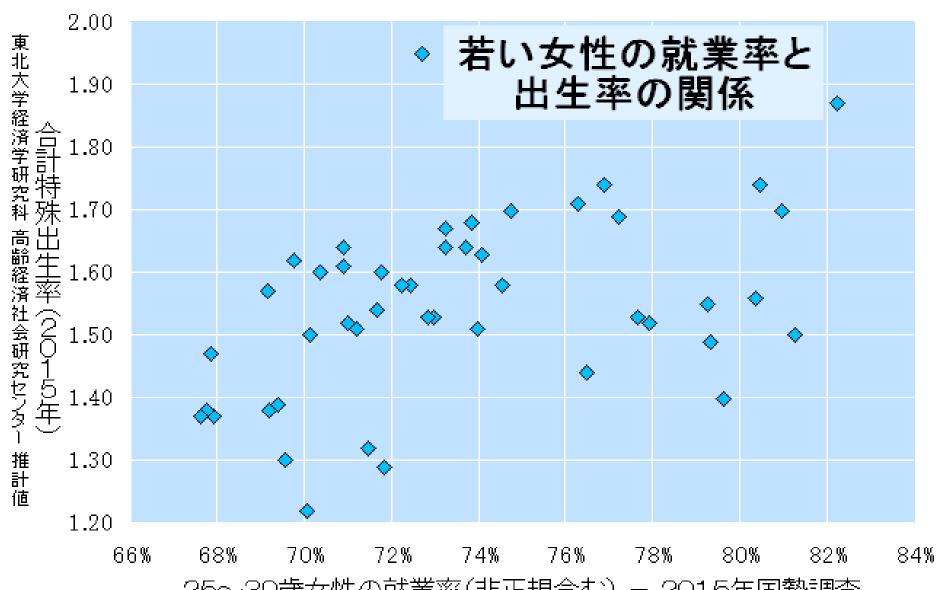
- × 20世紀: 高齢化する田舎/若々しい大都市
- 21世紀: 高齢者が減る田舎/激増する大都市
  - → 大都市では今後高齢者が激増 / 田舎ではむしろ減りだす
  - → 田舎は、今の医療介護体制を維持できれば何とかなるが、 大都市ではいつまでも医療介護の体制整備が追いつかない
  - → 先に高齢化した田舎で成り立つ企業が、全国で生き残る
  - → 人口が少ない方が食料自給率や自然エネルギー自給率を高く 保つことができ、長持ちする社会ができる
  - → 結局生き残るのは子供が生まれる地域 / 都会の子育でを容易 にするより、子育での容易な田舎に若者を戻す方が早い

ただし問題は、惰性のように続く若者の流出を 止められるか。雇用はある。「都会の方がチャンス が多い」という頭の中の伝説を壊せるか、がカギ。

#### "高齢化率"と"人口増減率"は無意味

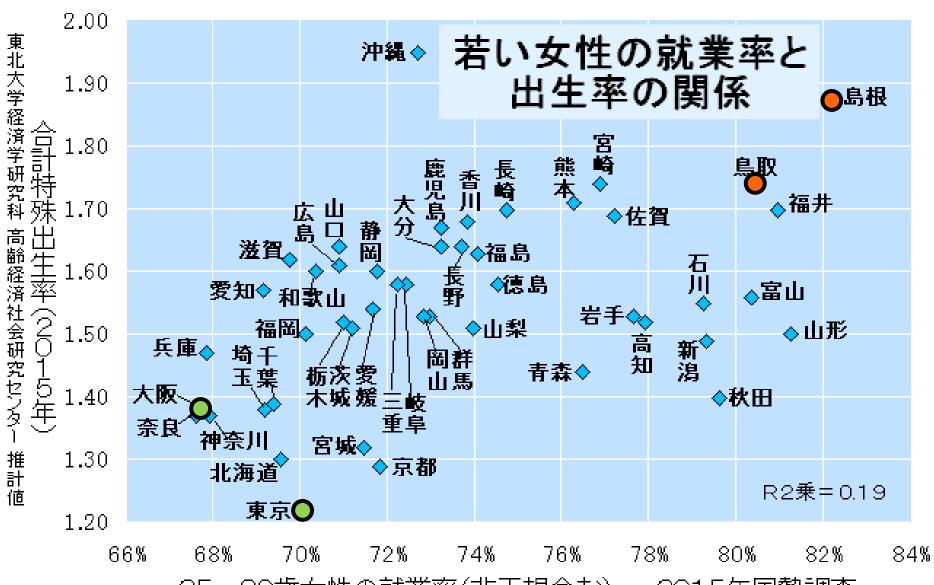
	高齢化率 2020	人口增減率 2015-20			0-4歳 増減率(同)	15-44歳 転出入率
首都圏	24.7%	+2.2%	+18%	△5.0%	△4.6%	+6.5%
関西圏	27.9%	Δ1.1%	+16%	△9.1%	△9.2%	+0.5%
明石市	26.0%	+0.8%	+20%	△5.1%	+7.8%	+4.4%
島根県	33.8%	△3.8%	+7%	△8.1%	△8.1%	<b>△2.7</b> %
吉賀町	43.0%	△4.6%	+3%	+0.5%	+22.5%	+4.1%
海士町	41.5%	△5.0%	+0%	△1.8%	△21.6%	+4.0%

### 若い女性が働くと出生が減る???



25~39歳女性の就業率(非正規含む) - 2015年国勢調査 ※ 労働力状態未回答者数を、回答者の比率によって按分した試質

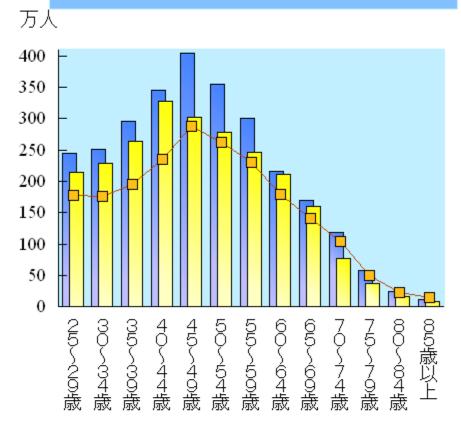
#### 若い女性の就労→所得増→出生増



25~39歳女性の就業率(非正規含む) - 2015年国勢調査 ※ 労働力状態未回答者数を、回答者の比率によって按分した試算

#### もし島根県なみに女性が働きやすければ

#### 日本の25歳以上の女性就業者数 2015年国勢調査・非正規・外国籍含む

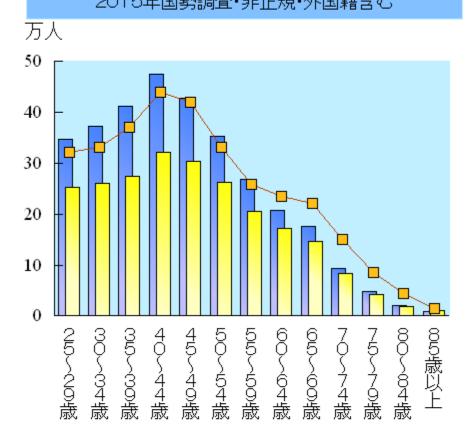


就業率が島根県並みの場合: +423万人

全国実数

就業率が東京都並みの場合: △297万人

#### 都在住の25歳以上の女性就業者数 2015年国勢調査・非正規・外国籍含む



就業率が島根県並みの場合: +86万人

東京都実数

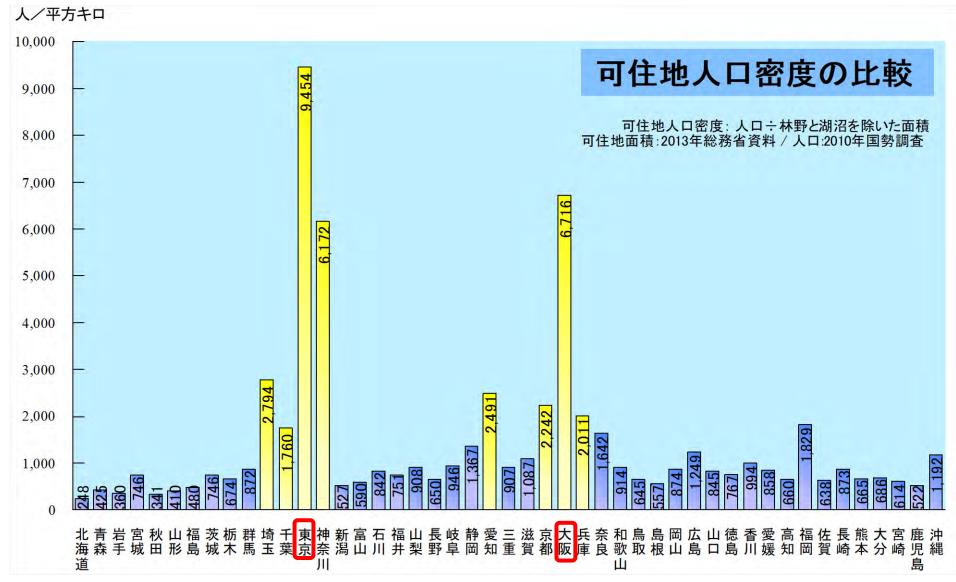
就業率が島嶼部並みの場合: +87万人

#### 止められないこと・できること

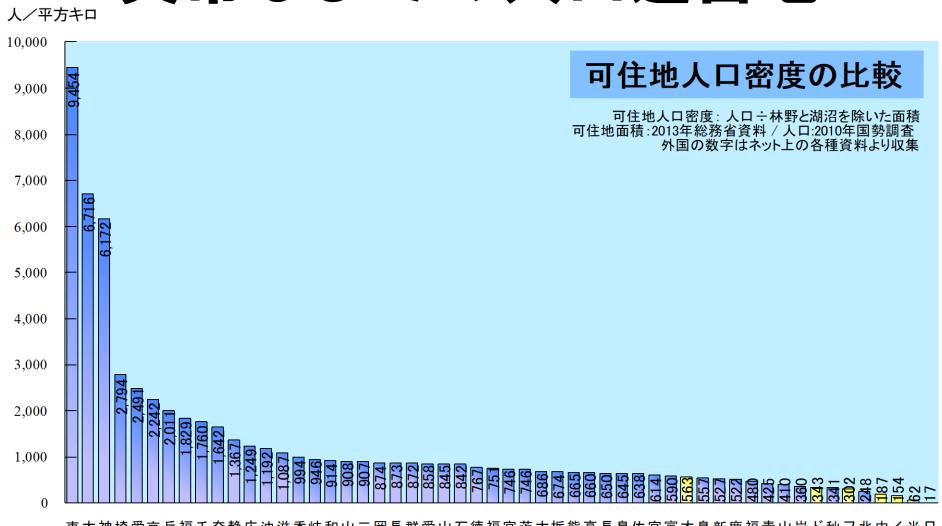
- × 止められないこと
  - → 今の住民が毎年1歳ずつ歳を取っていくこと
  - → (多くの) 若者が地域外に就職して出て行くこと
- △ 変えられること
  - → これまでは一度出て行ったきり帰ってこなかった 若者たちを、今後は工夫次第で呼び戻せる
  - → 子育で世代の支援で、出生率を高くできる
- むしろ前向きにできること
  - → 子育でしながら働く若い世代を呼び込める
  - → 無病息災で天寿を全うする高齢者を増やせる
  - → 来訪・滞在・短期定住する外来者を増やせる

## 付1. コロナ禍で 再認識された 大都市の過密と 田舎の"適疎"

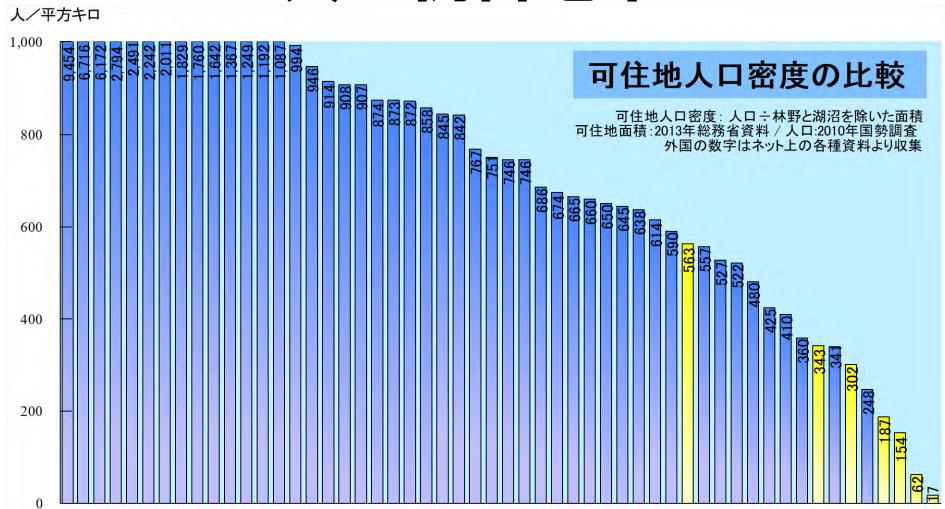
### 大都市圏に比べると とにかく人が少ない田舎…?



## 日本の大都市圏は世界的に見れば異常なまでの人口過密地



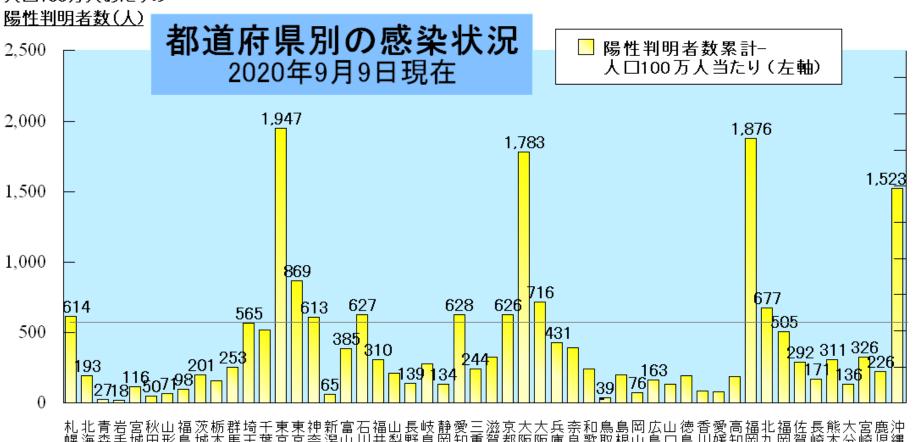
## 日本の過疎県も欧州にあれば人口稠密地帯



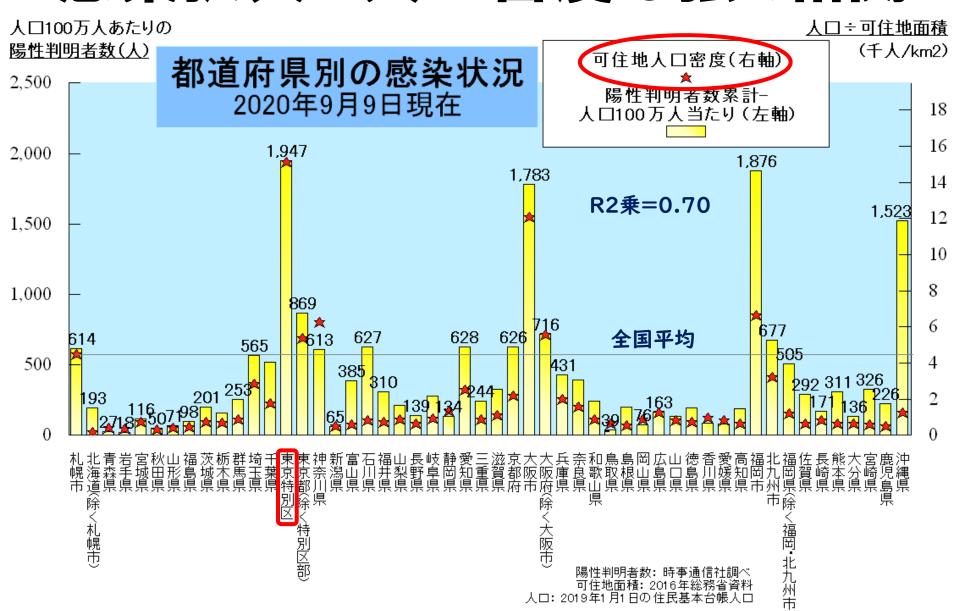
東大神埼愛京兵福千奈静広沖滋香岐和山三岡長群愛山石徳福宮茨大栃熊高長鳥佐宮富オ島新鹿福青山岩ド秋フ北中イ米ロ京阪奈玉知都庫岡葉良岡島縄賀川阜歌梨重山崎馬媛ロ川島井城城分木本知野取賀崎山ラ根潟児島森形手イ田ラ海国ギ国シ川 ム コン道 リアス ス ス

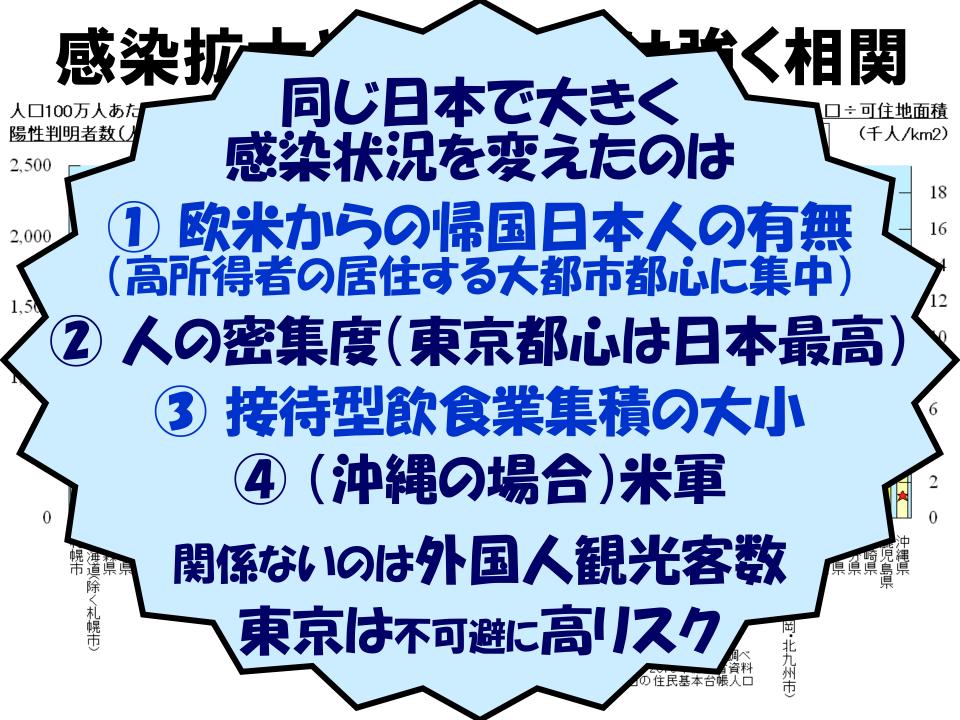
#### 同じ日本国内でこれだけ違う感染状況



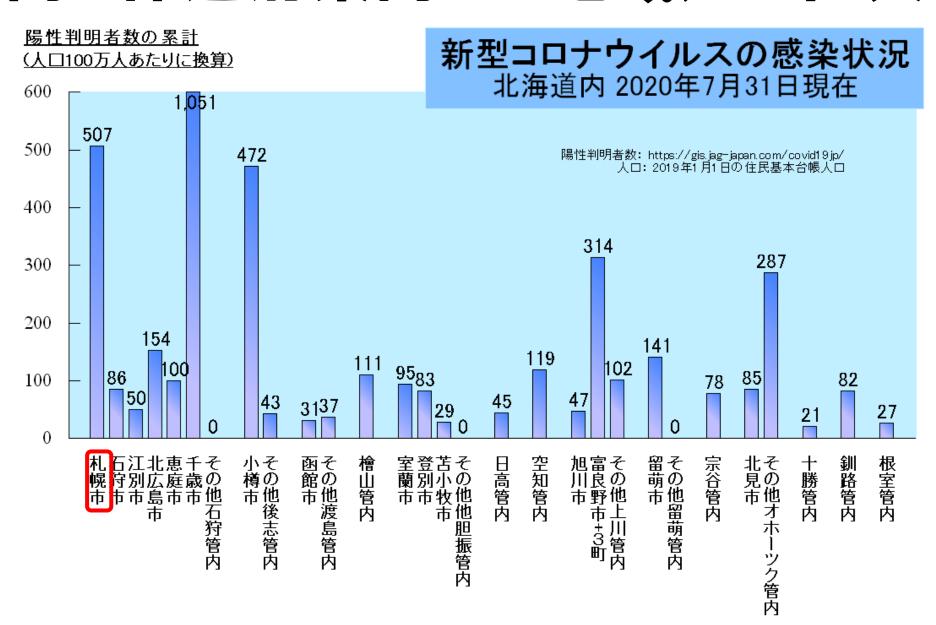


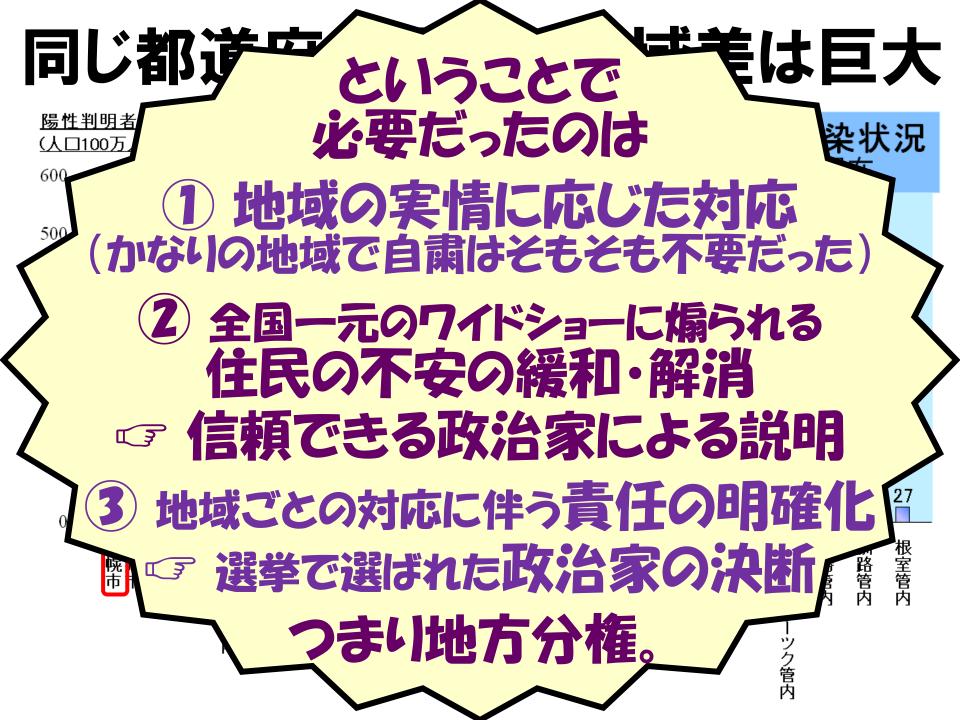
#### 感染拡大と人口密度は強く相関



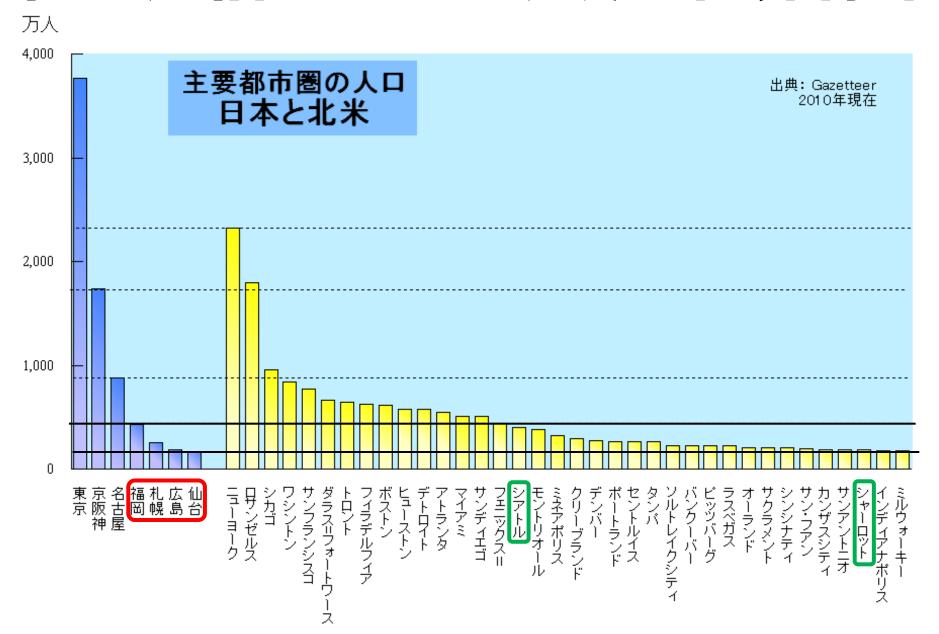


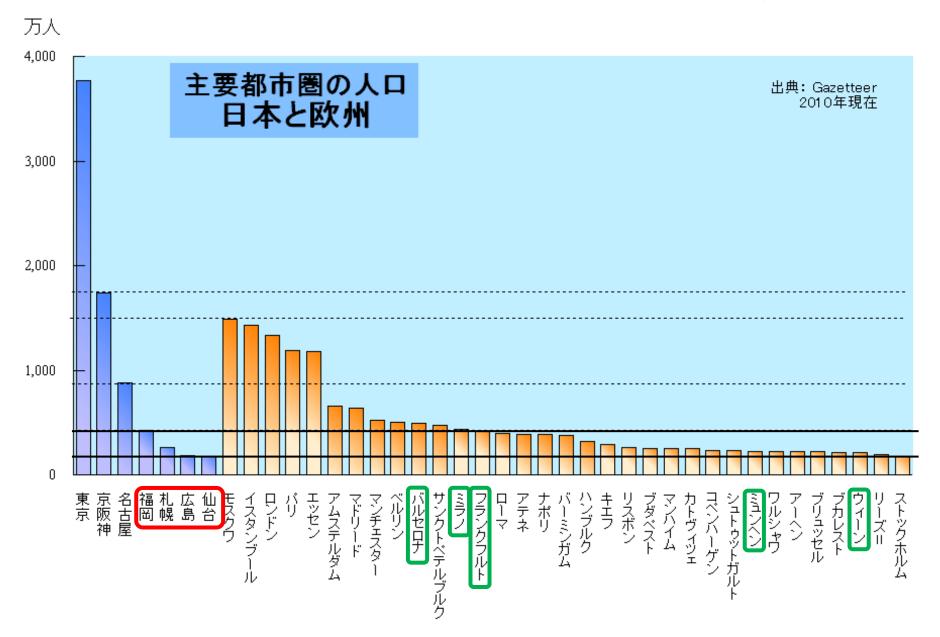
#### 同じ都道府県内でも地域差は巨大

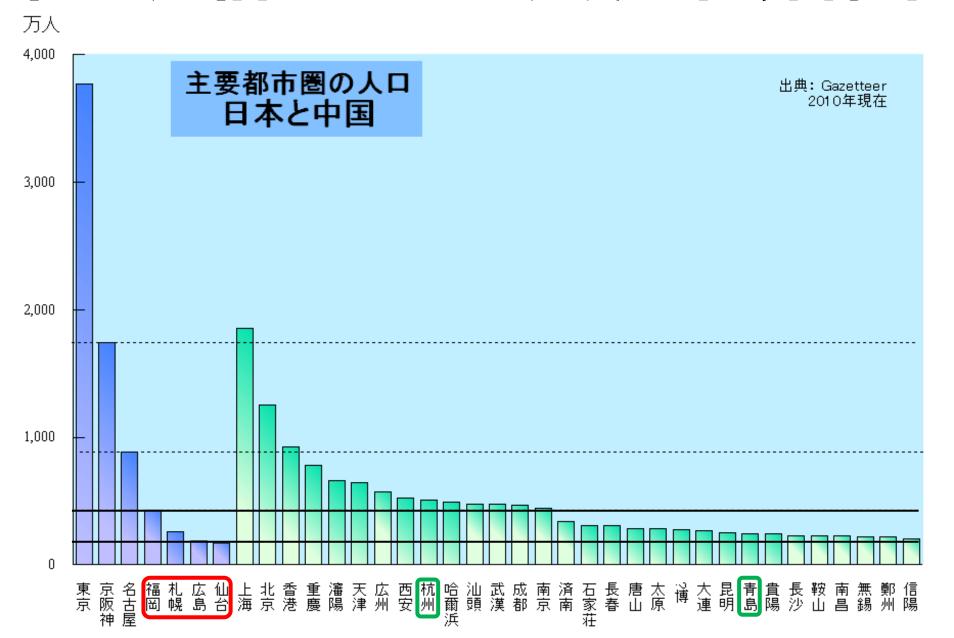


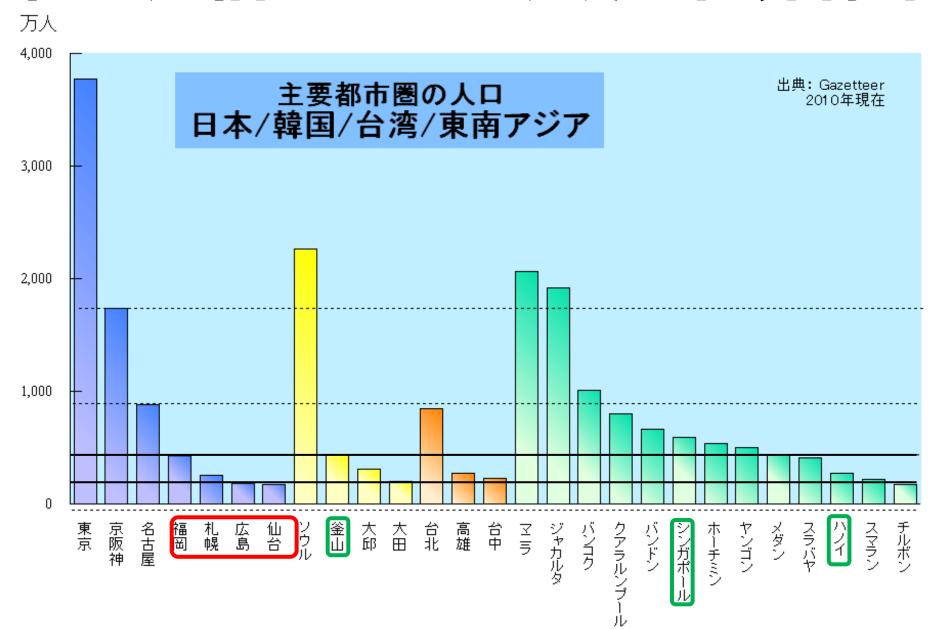


# 付2. 世界では は札仙広福が 標準的な規模









### 日本シリーズ出場球団の所在地

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
優勝	東京	東京	東京	福岡	埼 玉	千葉	札幌	名古屋	埼 玉	東京
準優勝	福岡	大阪	埼 玉	大阪	名古屋	大阪	名古屋	札幌	東京	札幌

首都圏

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
優勝	千葉	福岡	東京	仙台	福岡	福岡	札幌	福岡	福岡	福岡
準優勝	名古屋	名古屋	札幌	東京	大阪	東京	広島	横浜	広島	東京

札仙 広福 日本シ 札仙広福のチームが が強くなったのはなぜか? 1 市場規模が十分大きいので 必要な高い人件費を稼げる

② 地方球団は袋小路ではない (一級なら世界に出られる)

③ 東名阪の球団は大市場 に甘え経営革新が遅い

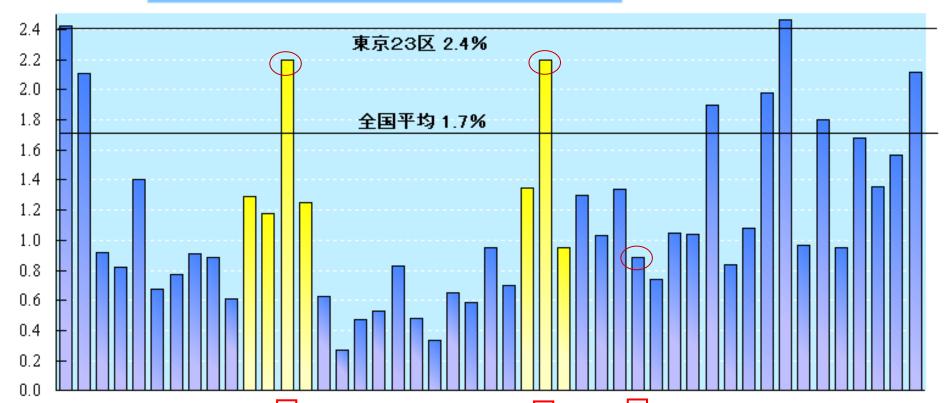
# 付3. 超高龄化 で見直される 田舎暮らし

## 生活が楽なのはどの都道府県?地方・大阪・東京、生活保護率が低いのは?

#### 生活保護率-都道府県別

%

2015年 厚生労働省資料より



### 人生は9回裏まである!



学校教育の 関係者は ここまでしか 考えていない 都くしまって しかない ないない

農山漁村では、ここらあたりが人生本番

高い確率で 延長戦が ありうる

### 人生は9回裏まである!



学校教育の 関係者は ここまでしか 考えていない 都会人はでえい しなされないないない

農山漁村では、ここらあたりが人生本番

高い確率で 延長戦が ありうる

### 人生は9回裏まである!

3回 70 10 5回 2回 4回 6回 80 9回 この時間に地域活動を 退職後も 5 15 楽しくやって、自給 歳 歳 物々交換・恩送り 豊かで 働いて をする相手を いる時間 楽しい 増やせる 8時間/日を 時間を 10 20 合計していくと 歳 歳 過ごせる 全部で10万時間

学校教育の 関係者は ここまでしか 考えていない 都会人 働くしまで しかない ていない

農山漁村では、ここらあたりが人生本番

高い確率で 延長戦が ありうる

### 21世紀は昭和とは違う

- ☆ 平均寿命が延びた [昭和:60歳代→21世紀:80歳代]
  - → 昭和の頃は、大企業の退職金で死ぬまで暮らせた
  - → 21世紀は"退職のない仕事"をして、田畑で自給ができて、お金に頼らない部分を持つ方が有利!
- ☆ 毎年生まれる子どもの数が半減した
  - → 昭和の頃は、人口の増加=若者の増加
  - → 21世紀は、人口の増加=高齢者の増加
    - ※ 都会ほど子どもが生まれにくく、新たに流れ込んでくる若者の数よりも、昔流れ込んできていま高齢者になっている人の方が多い
- ☆ 日本は世界一豊かになり、地方も本当に豊かになった
  - → 昭和の頃は、仕事がなくて都会に出ていた
  - → 21世紀は地方ほど人手不足で、生活費も安い

### エネルギー源でみた人類史五段階

① 狩猟採集時代 [石器時代~]

- ② 農耕時代 [弥生時代~]
- ← 太陽光を穀物に変え貯蔵するという技術革新で人口急増
- → 貯蔵した穀物や農地を巡って戦争が起きるようになった
- ③ 化石燃料前期-工業時代 [戦後~]
  - ← 化石燃料=太古の太陽光の濃縮物 で肉体労働を代替
  - → 人口が激増、しかしエネルギーは足りており戦争は無用に
  - → 農耕従事者が激減、都会で書類を書く無産階級が激増
- ④ 化石燃料後期-IT時代 [2 | 世紀~]
  - ← 頭脳労働もIT化され、生産に要する労働力が激減へ
  - → 生産ではなく消費がボトルネック化し、"経済成長"が終焉
- ⑤ 新エネルギー革命=再生可能エネルギー時代 [平成終盤~]
  - ← 太陽光や地熱を小規模で高効率利用する技術が深化
  - → 人口密度の低い田舎で"部分自給"する生活が有利に

